

- 問1 福井県などの日本海側の地域において、織物や眼鏡のフレームづくりといった精密な手作業を伴う地場産業が発達した歴史的な背景として、気候条件と関連させて説明しているものを選んでください。 (2020年 茨城県公立入試 類似)
1. 夏に吹く南東の季節風がフェーン現象を引き起こし、農作物が育たないため工業に転換した。
 2. 冬でも温暖な気候を活かして二毛作が行われ、その余剰生産物を加工する副業が発達した。
 3. 年間を通じて降水量が少なく乾燥しているため、水を使わない工業が副業として定着した。
 4. 冬の季節風による積雪で農作業ができない期間の副業として、屋内での手仕事が発達した。
- 問2 中部地方に位置する新潟県、長野県、静岡県などの周辺地域において、岐阜県にあるユネスコの世界文化遺産に登録されている伝統的な家屋様式として正しいものを選びなさい。 (2026年 三重県公立入試 類似)
1. 海上に立つ大鳥居が特徴的で、平安時代の建築様式を伝える厳島神社
 2. 流水が運ぶ栄養分による豊かな生態系が評価された自然遺産の知床
 3. 樹齢千年を超えるスギの原生林が自生し、自然遺産に登録されている屋久島
 4. 豪雪に耐えるための急勾配な茅葺き屋根が特徴の白川郷の合掌造り
- 問3 福井県鯖江市を中心に発展した「眼鏡のフレーム」製造の産業的な特徴や背景について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2019年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 大規模な海外資本の工場が誘致されたことで急速に発展し、現在は全工程を一つの巨大工場で一貫生産している。
 2. 豊かな森林資源と水資源を背景とした地場産業であり、環境規制の強化に伴いハイテク産業へと転換した。
 3. 京都の伝統的な工芸技術が北陸地方に伝わったもので、貴族や寺社向けの高級品として生産が始まった。
 4. 冬の積雪期における農家の副業として始まり、現在は多くの小規模な工場が工程を分担する分業体制によって支えられている。
- 問4 長野県に隣接する県の地理的な特徴について述べた文として、正しいものを選びなさい。 (2016年 山形県公立入試 類似)
1. 長野県は海に面していないため、隣接する県もすべて内陸県である。
 2. 隣接する8つの県のうち、関東地方に属しているのは山梨県と神奈川県である。
 3. 隣接する8つの県のうち、関東地方に属しているのは群馬県と埼玉県である。
 4. 隣接する県のうち、関東地方に属する県はすべて政令指定都市を県庁所在地としている。
- 問5 日本の地形の特色について述べた次の文のうち、中部地方に位置する「木曽山脈」の説明として最も適切なものを選びなさい。 (2023年 埼玉県公立入試 類似)
1. 東北地方の中央を南北に走る、日本で最も長い距離を持つ山脈。
 2. 飛騨山脈と赤石山脈の間に位置し、日本アルプスの一角をなす標高の高い山脈。
 3. 新潟県と群馬県の県境に位置し、季節風を遮ることで日本海側に大雪をもたらす山脈。
 4. 中国地方の中央部を東西に走り、山陰と山陽の気候を分ける山脈。
- 問6 都道府県別の平均標高を示した統計において、山梨県や群馬県を抑えて最も高い1132メートルを記録している長野県の特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 高知県公立入試 類似)
1. 周囲を海に囲まれた温暖な気候を活かし、早稲米の生産や花卉の栽培が大規模に行われている。
 2. 内陸の盆地特有の、夏に高温多湿となる気候を活かして稲作の二毛作が盛んに行われている。
 3. 冬の温暖な気候と日照時間を活かし、ビニールハウス等を用いて出荷時期を早める促成栽培が盛んである。
 4. 高冷な気候を活かし、他の地域で収穫が少なくなる夏から秋にかけて野菜を出荷する抑制栽培が盛んである。
- 問7 中部地方の太平洋側に広がる中京工業地帯および東海工業地域について述べた文として、正しいものはどれか。 (2015年 大分県公立入試 類似)
1. 静岡県浜松市などで、オートバイや楽器の製造、精密機械工業が盛んに行われている。
 2. 北九州市を中心に官営の製鉄所が建設されたことで発展し、現在も鉄鋼業が中心である。
 3. 岡山県倉敷市の水島地区などに大規模な石油化学コンビナートが形成され、原料の輸入に依存している。
 4. 千葉県から茨城県にかけての臨海部において、大規模な掘り込み港を中心に重化学工業が発達した。
- 問8 長野県などの高冷地では、レタスの収穫時期をあえて6月から10月の夏季に集中させています。平地の収穫量が減少するこの時期に出荷時期をずらす最大の目的として、最も適切な説明はどれか、選びなさい。 (2016年 岐阜県公立入試 類似)
1. 化学肥料の使用を抑えた環境に優しい農法をアピールするため
 2. 大都市に近い利点を活かし、輸送コストを抑えて新鮮なうちに届けるため
 3. 冬の積雪による農作業の停止を防ぎ、年間通じて安定した収入を得るため
 4. 他の産地との競争を避け、需要が高まる時期に高い価格で販売するため
- 問9 北陸地方の工業について述べた次の文の空欄にあてはまるものとして、最も適切な語句を答えてください。「中部地方の日本海側に位置する福井県では、県北部の嶺北地方を中心に地場産業が発達している。特に鯖江市周辺では、明治時代に農閑期の副業として始まった（ ）の製造が、現在では国内シェアの約9割を占めるまでに成長している。」 (2019年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 陶磁器
 2. パルプ・紙
 3. 西陣織
 4. 眼鏡のフレーム
- 問10 中部地方にある中部国際空港は、24時間運用が可能な人工島に建設され、国内外の乗り換え拠点としての役割を強化しています。このような空港が「24時間運用」を重視する理由として、最も適切な背景はどれですか。 (2019年 大分県公立入試 類似)
1. 滑走路の点検をすべて日中に行い、夜間は空港内を観光施設として開放するため
 2. 大型旅客機の離着陸を禁止し、燃料消費の少ない小型機専用の拠点とするため
 3. 時差のある世界各地からの便を柔軟に受け入れ、深夜や早朝の乗り継ぎ需要に対応するため
 4. 空港周辺の騒音問題を完全に解消し、周辺住民の夜間の移動手段を確保するため
- 問11 日本海に面する福井県の鯖江市では、特定の製品の製造が地場産業として発達し、国内シェアの約9割を占めています。この地域で特に生産が盛んな製品はどれですか。 (2021年 三重県公立入試 類似)
1. 眼鏡のフレーム
 2. 輪島塗の漆器
 3. 陶磁器（瀬戸物）
 4. 真珠の養殖
- 問12 愛知県や神奈川県と並んで製造品出荷額が非常に高い静岡県の工業について述べた文として、統計的な特徴をふまえた適切なものを選びなさい。 (2024年 富山県公立入試 類似)
1. 臨海部の石油コンビナートによる石油・石炭製品の出荷額が、県全体の半分以上を占めている。
 2. 富士市や富士宮市を中心に、情報通信機器や半導体などの電気機械の生産が最も大きな割合を占めている。
 3. 茶の栽培が盛んであるため、製造品出荷額の内訳では食料品工業が輸送用機械を上回っている。
 4. 浜松市などを中心にオートバイや自動車部品の生産が盛んで、輸送用機械が産業の中心となっている。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 冬の季節風による積雪で農作業ができない期間の副業として、屋内での手仕事奨励された。	北陸地方の伝統的な産業の背景には、厳しい冬の自然環境があります。シベリアからの北西の季節風がもたらす大量の雪は、冬の間の屋外活動、特に農作業を不可能にしました。この「雪に閉ざされる期間」を有効に活用するために、農家の副業として家族で行う手工業が発達しました。こうした歴史的背景が、現代における高度な技術を要する地場産業（鯖江市の眼鏡フレームや越前和紙など）へとつながっています。
問2	答え 4 豪雪に耐えるための急勾配な茅葺き屋根が特徴の白川郷の合掌造り	岐阜県の白川郷は、富山県五箇山とともに「白川郷・五箇山の合掌造り集落」として世界文化遺産に登録されています。この地域は日本有数の豪雪地帯であり、雪の重みで家屋が倒壊するのを防ぐため、屋根が急勾配の茅葺き（合掌造り）になっているのが最大の特徴です。選択肢にある屋久島や知床は世界自然遺産であり、厳島神社は広島県に位置する文化遺産です。
問3	答え 4 冬の積雪期における農家の副業として始まり、現在は多くの小規模な工場が工程を分担する分業体制によって支えられている。	鯖江市の眼鏡産業は、雪深い冬の時期に収入を得るための副業として始まりました。この産業の特徴は、一つの製品を完成させるために、部品作り、研磨、メッキ、組み立てといった各工程を専門の工場が担当する「分業体制」が確立されている点にあります。この仕組みにより、職人の高度な技術を維持しながら効率的な生産が可能になっています。
問4	答え 3 隣接する8つの県のうち、関東地方に属しているのは群馬県と埼玉県である。	長野県は東側で関東地方の群馬県および埼玉県と隣接しています。山梨県は長野県の南東に位置し、隣接していますが、地方区分では中部地方に含まれます。また、長野県に隣接する県のうち、新潟県や静岡県、愛知県などは海に面しているため、すべてが内陸県というわけではありません。群馬県の県庁所在地である前橋市は政令指定都市ではないため、すべての選択肢の中で正しいのは地方区分に基づいた記述のみとなります。
問5	答え 2 飛騨山脈と赤石山脈の間に位置し、日本アルプスの一角をなす標高の高い山脈。	木曽山脈は長野県に位置し、西側の飛騨山脈、東側の赤石山脈とともに「日本の屋根」と呼ばれる険しい地形を構成しています。他の選択肢にある奥羽山脈は東北地方、越後山脈は主に新潟県付近、中国山地は中国地方に位置する山脈であり、所在地や地形的特徴が異なります。
問6	答え 4 高冷な気候を活かし、他の地域で収穫が少なくなる夏から秋にかけて野菜を出荷する抑制栽培が盛んである。	長野県は平均標高が日本で最も高く、夏でも涼しい高冷地の気候を有しています。この気候条件を利用し、平地での出荷が減少する夏場にレタスなどの高原野菜を収穫・出荷する「抑制栽培」が発達しました。これにより、他の産地と出荷時期をずらすことで、市場において有利な価格で販売することが可能になっています。
問7	答え 1 静岡県の浜松市などで、オートバイや楽器の製造、精密機械工業が盛んに行われている。	東海工業地域は静岡県を中心とした地域を指し、浜松市の楽器やオートバイ、磐田市の輸送機械、富士市の製紙業など、多様な加工組立産業や伝統的な地場産業が発展しているのが特徴です。他の選択肢は、瀬戸内工業地域、北九州工業地帯、鹿島臨海工業地域の記述です。
問8	答え 4 他の産地との競争を避け、需要が高まる時期に高い価格で販売するため	夏の平地は気温が高すぎてレタスなどの生育に適しません。その時期に涼しい高原で栽培して出荷することで、市場に出回る量が少ない「品薄」の状態を狙い、有利な価格で取引することを目的としています。これを「抑制栽培」と呼びます。
問9	答え 4 眼鏡のフレーム	福井県の鯖江市は、日本国内で生産される眼鏡のフレームの大部分を製造する日本最大の産地です。明治時代に、冬の積雪で外仕事ができない時期の副業として始まったものが、後に技術革新を重ねて世界的なブランドを支える一大産業へと発展しました。
問10	答え 3 時差のある世界各地からの便を柔軟に受け入れ、深夜や早朝の乗り継ぎ需要に対応するため	国際的な拠点（ハブ空港）として機能するためには、世界各国の都市との時差を考慮したスケジュール設定が不可欠です。24時間運用が可能であれば、深夜や早朝であっても到着便から別の便へのスムーズな乗り継ぎが可能になり、国際的な競争力が高まります。
問11	答え 1 眼鏡のフレーム	福井県鯖江市は、100年以上の歴史を持つ眼鏡作りの街です。明治時代に農閑期の安定した収入源として技術が導入され、職人の分業体制や高度な加工技術が蓄積された結果、世界三大産地の一つに数えられるまでになりました。石川県の輪島塗や三重県の実珠など、近隣県の代表的な産業との違いを把握しておくことが重要です。
問12	答え 4 浜松市などを中心にオートバイや自動車部品の生産が盛んで、輸送用機械が産業の中心となっている。	静岡県の工業は、県西部（浜松市など）を中心にオートバイや自動車関連の工場が集積しており、輸送用機械工業が製造品出荷額のトップを維持しています。電気機械や食料品、パルプ・紙なども盛んですが、出荷額の規模では輸送用機械が突出しています。